



須津地区まちづくり協議会 広報
令和5年 3 / 5 No.18



山の音楽会
出演 富士山草笛の会
の皆さん
11時30分から



さわやかな秋色の須津川溪谷を満喫 身も心もリフレッシュ

11月27日(日)須津ふれあい遠足



山の音楽会「富士山草笛の会」



スタンプラリーの人混みに
小長井市長が...



★須津地区ふれあい遠足★
スタンプラリー

スタンプラリーのやりか
①②③④のポイントに置いてあるスタンプをスタンプ
①②③④のポイントのクイズに挑戦しよう！
クイズに答えて参加賞をゲットしよう！！
ゴールのまちづくりセンターでもらえるよ
①②③④の答えの文字をつなげて、一つの言葉を作ろう！

クイズのこたえ
① ② ③ ④
ふれあい

題字・デザイン

伊藤 友香さん (大学3年生: 中里3)
寒さが厳しくなる中、私たちは、いつでも雪化粧を纏った美しい富士山を見ることが出来ます。これはまさに須津ならではの恩恵であり、この喜びを“須”の字で表現しました。

12月4日(日) 地域防災訓練

須津地区各町内の自主防災会が主体となり、突発的な地震発生を想定した防災訓練が実施されました

須津地区全戸で「黄色いリボン作戦！」

地震発生の訓練広報が発せられた後、家族の無事を知らせる黄色いリボンを玄関先に掲げる

- ①各家庭では
- ・自分の身を守る
- ・火の始末
- ・家族の無事は黄色の布で



⑦給食給水班
アルファ米等
非常食の説明



⑥私設消防隊
可搬式消火ポンプの
水訓練



簡易トイレの組立



簡易ベッドの組立



組長による安否確認

中里3丁目では

情報班の各組長を中心に、消火班、救護班、給食給水班に分かれて訓練を実施



②組長は組内の
安否確認を



③情報班 各組長から
安否確認を受取り本部へ



④救護班 安全誘導班
担架を組立てて搬送の練習

自分のまちは自分たちで守る！

今回の訓練では、各家で出来る家具の固定、地域コミュニティの重要性を強調しました。防災の課題は多くありますが、震災時、家屋の倒壊や家具の下敷きによる犠牲者の多くは、教訓として大事なことを教えてくれています。私たち一人ひとりが、命を守るために取り組むことは何か！今も命を守ることを最優先に考える、貴重な防災訓練の場とします。



中里3丁目自主防災会 会長
原田陽二郎（中里3町内会長）



⑤消火班
水消火器で放水訓練

中里1丁目では
各組長の安否確認の状況を数値化し、訓練結果を町内の回覧板で報告

中里1丁目	世帯数	黄色物表示あり	表示なし安否確認済	独居高齢者75才以上	高齢2人世帯	安否確認率
1	18	16	2	1	2	100%
2	35	25	8	2	1	94.3%
12	23	16	7	0	0	100%
13	4	4	-	1	0	100%
合計	230	173	38	7	11	92%

- ・どの組長さんも、黄色の目印のないお宅の安否確認をしっかりとってくださいました。
- ・確認できないお宅は、すでに出勤するなど留守のお宅がほとんどでした。
- ・すでに配布してある黄色のタオルではなく、黄色のゴミ袋などを利用しているお宅がありましたが、それでもかまいません。



防災訓練に参加する
中里1丁目自主防災会 会長
桶川素達（中里1町内会長）





— 男女共同参画とは —



映画は頭では理解できるが、現実ではなかなか難しいように思う。悩んでいる人が高い割合でいることに驚いた。理解していきたいと思った。

映画は難しく疲れた。ただ私たちの周りには多種多様な人生があり、その一つ一つが尊厳を認められてる世の中であってほしいと思う。

ジェンダー平等に関して、日本は世界116位。先進国最下位という現状である。日本には、いまだに伝統的な男女の固定的な役割意識が根強く残っていることを思い知らされた。

参加者の感想



映画「おいしい家族」

なかなか衝撃的な映画だった。鑑賞後に意見交換したら、色々な意見を拝聴でき、参考になったかと思う。

「生きていればいい」その通りだと思う。

(原文ママ)

男女共同参画についてなんとなくわかった。様々な考えがあり、尊重しあうことも大事だと思う。

12月10日(土)に福祉健康部門による須津福祉健康セミナーが開催されました。①男女共同参画クイズ、②男女共同参画課津さんの講話、③映画上映を55名の参加者は、それぞれに考えを深める貴重な時間となりました。



男女共同参画〇×クイズ



女子駅伝コース清掃

12月11日(日)に年末恒例の富士山女子駅伝で、選手が気持ちよく走れるように、須津地区内のコース清掃を行いました。

大会当日はコロナ禍ではありますが、沿道の応援の中を力走する選手を見ることができました。



メガネ池前の町内会長さん



沼津線沿線は実行部門の皆さん



第6回 まちの小さな音楽会 クリスマスコンサート

12月17日(土)にクリスマスコンサートが開催されました。マリンバの関里美さん、ピアノの西山絵美子さん、トランペットの加藤友美さんの奏でる温かい音楽に、60名の来場者は耳を傾けていました。お話の会トトロの「よいさっさ劇場」や、米田容子さん(緑町)のストーリーテリングも楽しんでいました。



クリスマスドレー演奏



トトロの会 3びきのこぶた

須津中学校生徒のボランティアガイドが大活躍

100人が古代へタイムスリップ



琴平古墳



千人塚古墳



浅間古墳



天神塚古墳

富士市文化財課の協力により、千人塚古墳等から出土した土器を、特別に鑑賞できました。



大人も子どもも興味津々



真剣に話を聴く参加者の皆さん

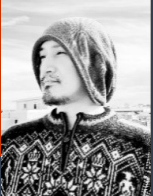
1月22日(日)に「第4回須津地区古墳ロードスタンプラリー」が開催されました。参加者はマップを片手にそれぞれのペースで、須津古墳群を巡りました。須津中学校生徒24名が、ボランティアガイドとして、案内を務めました。須津の魅力を再発見できるウォーキングとなりました。



夢を創る

装丁家 (ブックデザイナー)

吉岡秀典さん



昭和五十一年、富士市神谷に生まれ育ち、現在その世界で注目を浴びる人物である。三千円という高価な本が二十万部売れたという事で評判になった「独学大全」も吉岡さんの装丁である。

ここに至るまで、吉岡さんの人生は、順風満帆とはとても言えない。吉原工業高校卒業後、好きな絵や図形を描くことを仕事にできたらと一念発起、美術系の専門学校に入学。そこでデザインの魅力に目覚める。ところが、学校を出ても、本当にやりたい仕事になかなか出会えない生活が続く。広告やカタログなどの消費されていくデザインにはどうしても満足できなかったのである。

なんとその後、吉岡さんは、漫画家への道を志し、寝る間を惜しんで漫画を描く日々が続く。二十五才の頃、実家に帰り、漫画で身を立てるべく背水の陣で臨むが、気持ち空回りするばかりで漫画の作業が思うように進まず、ついには幻聴などに悩まされるまでになってしまった。

そんな時、中央図書館の美術コーナーで、装丁家平野甲賀さんの作品集と運命的な出会いをする。これをきっかけに本をデザインする職業に可能性を感じ、友人の助言から、有名装丁家祖父江慎さんの事務所のドアを叩くこととなった。吉岡さんの感性にぴたっとはまるこのような人物との出会いがなければ、今日の吉岡さんの活躍はなかったかもしれない。

常に新鮮なデザインを求め飽くなき挑戦の日々を送る吉岡さんを、地元からずっと応援していきたいと思っている。



須津のれきし探訪 (シリーズ第18回)



須津と江戸 I 須津地区の「殿さま」⑥ 中里村の殿さま② 戸田氏② 杉本 寛郎 (富士山かぐや姫ミュージアム学芸員)

宝永七年(一七一〇)から中里村の殿さまとなった旗本戸田氏は、中里村以外にも藤間村や宗高村・三ツ沢村など富士市内十一ヶ村、石高二千五七〇石の領地を持つ殿さまでした。中里村の石高は、領地の村のなかで五〇%を超える一千三一九石あり、戸田氏の家計を支える要の村でした。そのため戸田氏は中里村に知行村十二ヶ村を管理する事務所を設置します。これは「陣屋」と呼ばれ、うなぎ屋のY字路を南側に入った道(旧根方街道)のすぐ右手のあたりにありました。旗本は江戸に常駐する決まりだったので、戸田の殿さまが陣屋にいることはなく、家臣を陣屋に派遣し、領地の管理にあたらせました。この中里陣屋で作成・受領された旗本戸田氏の行政文書は、明治時代に須津村役場に引き継がれ、そして現在富士市立中央図書館に旧須津村役場文書として保存されています。旧須津村役場文書は、須津地区や中里村、そしてその殿さま・戸田氏の歴史だけでなく、富士市の江戸時代を語るうえで大変貴重な史料群です。

2月11日(土) 須津山山神社奉賛会

須津地区町内会長会 会長 安東雅彦

須津山奉賛会は、須津地区区長会で構成され会長は歴代の町内会長会会長が就いております。

祭典には「大山祇命」(おおやまつみのみこと)を祀り、毎年 中里区長が祭主となり祭儀が執り行われます。

この神社は山神社として、明治14年4月に建てられ、御神木は樹齢200年の愛鷹ケヤキです。須津山の守護人として毎年祭典を実施させていただいております。これからの須津地区の発展繁栄と安全、皆様のご多幸と健康を祈願させていただきました。



編集後記

我が家の桜の花の蕾も膨らみ始めました。

須マイル編集会議の折に、各町内の行事が話題にあがります。各町内では、コロナ禍で開催できなかった行事が、少しずつ復活してきました。協議会でも講座・イベントを企画して、回覧やSNS等で情報を発信しています。暖かい日は外出してみませんか。みなさんの、ご参加お待ちしております。

Suwa



須マイル編集スタッフ、カメラマン大募集

興味のある方は、須津まちづくりセンター (34-0004) へ連絡ください